

華やかな時代絵巻で魅了 ～第45回政宗公まつり～

第45回政宗公まつりが、10月4日、5日、伊達政宗ゆかりの城下町である岩出山で開催されました。例年の9月開催を、今年は仙台・宮城DCに合わせ10月に変更。4日の宵まつり、5日に行われた戦国絵巻さながらの武者行列や珍しい秋の夜の花火大会など、2日間で県内外から8万人が訪れ、秋の岩出山を楽しみました。



勇壮な伊達武者行列。沿道を埋めた観客を魅了しました。

米どころ大崎・旬の味に舌鼓！ ～新米まつり～

10月4日、古川地域農業振興協議会主催の新米まつりが、「醸室」を会場に開催されたくさんの家族連れなどでにぎわいました。きらきら輝く新米のおにぎりや豚汁のほか、「醸室」のテナント7店舗による特別メニューも販売。また、会場では太鼓演奏などのイベントも行われ、訪れた人たちは旬の味と秋の一日を楽しみました。



やっぱり大崎のお米と食材のおいしさは天下一です。

水源に緑の森を育てよう ～みやぎバットの森記念植樹～

10月12日、鳴子温泉地域圏首で、おおさき市民の森づくり事業「みやぎバットの森記念植樹」が行われスポーツ少年団など約150人が参加しました。この日は、バットの原木となるアオダモをはじめ、コナラやミズナラなどの広葉樹約250本を植樹。秋晴れの中、参加者した皆さんは、小さな苗木を一本一本ていねいに植えていました。



みんなで植えた苗木が、将来豊かな緑の森となります。

古川地域川南地区公民館合同事業

東北弁の素晴らしさを再発見！「東方落語」

催し

東北弁で民話などをテーマにした落語を語る「東方落語」。昨年大好評だった川野目亭南天さんの落語に加えて今年は今野家なにも・かにもさんの漫才も行います。抱腹絶倒の「東方落語」。皆さんお誘いあわせのうえご来場ください。

日 時 ▶ 12月4日(日) 10時～11時30分

会 場 ▶ 古川東大崎地区公民館

テーマ ▶ 「笑顔でお達者・東方落語」

出 演 ▶ 真打・川野目亭南天さん、今野家なにも・かにもさん

演 目 ▶ 当日のお楽しみ

入 場 料 ▶ 無料



笑いは元気のみなもとです。落語を聴いて心も体も元気いっぱい！(写真は昨年の様子)

固 東大崎地区公民館 ☎ 26-4224

松山ふるさと歴史館企画展

魅惑の低音歌手 フランク永井展

昭和歌謡界を代表する歌手フランク永井氏は、松山地域の出身です。昭和30年「素人のど自慢」で年度のベスト・ワンとなり、日本ビクター社にスカウトされ「恋人よわれに帰れ」でデビュー。その後、ジャズのフィーリングを生かした独特の唱法で歌う曲は次々とヒットし、その歌唱力は誰もが認めるところです。企画展では、歌手・フランク永井の活躍と故郷に寄贈された貴重な品々、作曲家 吉田正氏との関わり等を紹介しています。



期 間 ▶ 12月21日(日)まで 月曜休館
9時30分～17時

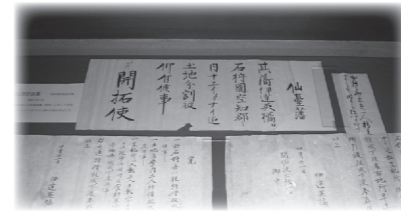
入 館 料 ▶ 一般 210円 高校生以下 100円

固 松山ふるさと歴史館 ☎ 55-2215

有備館秋季企画展

伊達邦直主従の北海道開拓移住

邦直が旧臣一同を有備館に集め、北海道移住計画を発表したのは明治2年9月1日のことでした。明治140年の節目の年を記念し、開拓議事所として開拓計画が話し合われた有備館を会場に企画展を開催しています。北海道当別町からお借りした、邦直使用の陣羽織や開拓使との書簡なども展示しています。



期 間 ▶ 12月21日(日)まで
8時30分～17時

入 館 料 ▶ 一般 300円 高校生 200円
小中学生 100円

固 旧有備館及び庭園 ☎ 72-1344

住宅用火災警報器の設置はお済みですか

全国で平成19年中の住宅火災による死者(放火自殺者を除く)は1,148人で、このうち65歳以上の高齢者は684人と全体の59.4%を占めています。また、死に至った経過は「逃げ遅れ」が全体の半数を超えています。火災が万一発生した場合でも早期発見により被害を最小限に止め、火災から尊い生命と貴重な財産を守るために住宅用火災警報器を早期に設置しましょう。

消防法および火災予防条例が改正され、大崎地域では6月1日から、すべての住宅(寝室・階段・台所)に火災警報器の設置が義務付けられています。



平成20年度大崎地域広域行政事務組合 防火ポスターコンクール最優秀作品 美里町立小牛田小学校 4年 小野寺 航汰さん

- ★住宅防火のちを守る7つのポイント
- ★3つの習慣
 - ★寝たばこは絶対やめる
 - ★ストーブの近くに燃えやすいものを置かない
 - ★ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す
 - ★逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する
 - ★寝具、衣類、カーテンなどへの着火を防ぐため、防炎品を使用する
 - ★火災を小さいうちに消すために住宅用火災警報器を設置する
 - ★お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる

火災予防

「火のしまつ君がしなくて誰がする」秋の火災予防運動が実施されます

11月9日～15日は平成20年秋の火災予防運動期間です。10月20日現在、大崎市全体の火災発生件数は58件と、昨年同時期に比較し9件減少しています。これから、空気が乾燥しやすく、暖房器具を扱うなど火災の起こりやすい時季を迎えます。より一層火災の予防を心がけましょう。

固 防災安全課消防係 ☎ 5144

市長コラム 天・地・人



ラムサール条約締結国会議に臨んで

「健全な湿地、健康な人間」をテーマに十月二十八日から韓国慶尚南道昌原市で開かれた第十回ラムサール条約締結国会議に、青沼議長や化女沼湿地保全活用検討会、田尻地域のNPO関係者とともに参加いたしました。

また、今回の会議で日韓両政府が共同提案した「湿地生態系としての水田の生物多様性を高める」水田決議が採択されました。世界で唯一水田の名のつく登録地蕪栗沼・周辺水田、そして大崎耕土(水田)を有する本市としては世界に向けて発信する意義ある決議であります。

今回の化女沼の登録と水田決議は、「自然と共生する都市大崎」を内外にアピールし、観光や農業、環境教育等が大きくステップアップする絶好の機会であります。

大崎市長 伊藤康志